三菱商事マシナリ株式会社

©海上自衛隊 SH-60K型ヘリコプター

インフラを通じて、
世界に貢献する企業でありつづける。

1982年、「三菱商事マシナリ」は、三菱商事の全額出資にて、
社員17名の機械・部品の貿易プロフェッショナル集団としてスタートしました。
現在では、発電プラント・化学プラント・社会インフラ・鉄道の建設業務や
関連機器の供給から改修工事、ヘリコプター・防空システム・艦船搭載システム等の
各種防衛関連装備品の輸入を行っています。
また、持続可能な社会の発展に貢献するインフラソリューションプロバイダーとして
従来型のビジネス展開に加え、新規ビジネスの開発・創出に挑戦しております。

三菱商事マシナリ
BUSINESS FIELD

インフラプロジェクト

産業・社会基盤業界との幅広い接点を
活かし、インフラ分野における
新たなビジネスの実現に挑戦

新規事業開発

既存トレーディングビジネスの
強みを活かして顧客目線の
新たなビジネスの開発にも挑戦

宇宙航空機

ヘリコプター、防空システム、
艦船搭載システム等の分野で、
日本の安全保障・防衛力の強化に貢献

INFRASTRUCTURE SOLUTION PROVIDER

INFRASTRUCTURE & INDUSTRIAL PROJECTS
インフラプロジェクト

産業・社会基盤業界との幅広い接点を活かし、インフラ分野における新たなビジネスの実現に挑戦

インフラプロジェクトの領域では、各種インフラの供給・整備を通じて、世界中の人々の日々の生活の改善・向上を目指すと共に、世界課題である低炭素化社会の実現や新興国の経済成長を担うといった使命を持って日々働いております。
例えば、経済成長を阻害する交通渋滞を緩和する鉄道車両やシステムといった交通インフラ案件、新興国の経済基盤となる空港・港湾・道路・橋梁などの社会インフラの建設案件、国の基幹産業となる化学・製鉄・非鉄に代表される産業用大型プラントの供給案件、及び世界各国の電力の安定供給に寄与する、再生可能エネルギーを含む発電・変電・送電EPC(※)案件及びアフターサービス等、多岐にわたる分野で国内外のパートナーと共に世界各国の経済発展に貢献しています。
インフラプロジェクトの領域は多岐にわたりますが、何れの領域でも案件の発掘からFeasibility Studyの実施、ファイナンスのアレンジやコンソーシアムの組成など、広範囲にわたる商社機能が求められます。
産業・社会基盤に関連する業界との幅広い接点とこれまでの経験を活かし、時代の変化や顧客のさまざまなニーズをしっかりと捉え、社会に貢献する新たなビジネスの実現に向け常に挑戦を続けています。

※ EPC(Engineering, Procurement & Construction):建設工事一括請負契約

PROJECTS

Photo Play / Shutterstock.com

カタール ドーハメトロ

近年目覚ましい成長を遂げる中東湾岸諸国の一つであるカタールにおいて、2022年サッカーワールドカップ大会開催決定を契機に首都ドーハの都市開発・整備の一環で行われている同国初の鉄道プロジェクト。路線長86kmの全自動無人運転システムで、当社は主に車両供給を担当、納入車両は合計330両に上り、契約履行において大きな貢献を果たしています。

インド国営SAIL社向け熱間圧延機新設プロジェクト

インド最大手建設会社Larsen & Toubro社とコンソーシアムを組み、インド国営製鉄会社SAIL社向けに同国東部オディッシャ州ルールケラーにて熱間圧延機新設プロジェクトを遂行中です。インドは巨大な人口を背景に今後も着実な経済成長とインフラ投資が見込まれており、当社は国内外パートナー企業と共に高い技術力と実績に裏打ちされた着実なプロジェクト履行でインド鉄鋼産業並びに同国の発展に貢献していきます。

台湾 大潭GTCC発電所向けアフターサービスの取り組み

台湾における大型重要電源である大潭GTCC発電所においては当社が発電所建設を行い、2006年の完工、運転開始以来、安定操業を目指して長期保守契約を軸にしたアフターサービスに取り組んでおります。日々のコミュニケーションを通じお客様との関係を維持・深化してきたことでお客様の要望を的確に捉えた結果、以下の項目を実現する改造案件にも取り組んでおります。1)需要に応じた急速起動、2)出力アップ、3)効率改善、4)運転保守費用削減を目指した定検インターバルの延長、5)NOx低減。

NEW BUSINESS DEVELOPMENT

新規事業開発

既存トレーディングビジネスの強みを活かして
顧客目線の新たなビジネスの開発にも挑戦。

当社は、創業以来40年以上にわたりインフラ供給およびアフターサービス事業に取り組み、その歴史の中で培った現場感覚と実務能力を基盤に、顧客と伴走して課題解決に取り組むソリューションプロバイダーを目指しています。
さらに、"日本を元気に!"の想いを胸に、持続的な成長を実現するため、既存トレーディングビジネスでの強みを活かしながら新たなビジネスモデルの創出に挑戦しており、この取り組みをBX（Business Transformation）と位置付け、新たな価値創造に向けて推進しています。

AEROSPACE
宇宙航空機

©海上自衛隊 SH-60K型ヘリコプター

出典：航空自衛隊ホームページ

©Lockheed Martin

Photo credit : Ghost Robotics

宇宙航空機の領域において、グローバルな視点から、お客様に付加価値の高い様々なサービスを提供し、日本の安全保障・防衛力の強化に貢献

宇宙航空機の領域において、各種防衛関連システムを取り扱っています。

主にロッキード・マーティン社、RTX社、シコルスキー社等の米国大手防衛メーカーの本邦代理店として、

陸上・海上・航空自衛隊向けヘリコプターや防空システム、艦船に搭載されるシステムを取り扱っています。

また、無人機、ロボット、AI等の新規技術の導入についても提案しています。

付加価値の高いサービスの提供、高度な情報収集と分析、各種ソリューションの提案、

海外製品の輸入調達業務を通じて、日本の安全保障・防衛力の強化に貢献していきます。

PROJECTS

Photo credit : Raytheon

電子システム

陸上・海上・航空自衛隊向けに防空システム、指揮通信システム等を取り扱っており、米国メーカーの代理店として顧客へ提案、また顧客の調達支援・アフターサービス等を行っています。

出典：海上自衛隊ホームページ

艦船システム

海上自衛隊のイージス艦を始めとする艦船搭載の各種システムを取り扱っており、各システムの北米メーカーの代理店として顧客への提案活動や契約履行・アフターサービス等を行っています。

出典：航空自衛隊

航空システム

陸海空全ての自衛隊で活躍するH60ヘリコプターや、有人機に取って代わる無人機や最新AI技術による自律飛行ソフトの代理店として顧客への提案活動を通じ、日本の空を変えていきます。

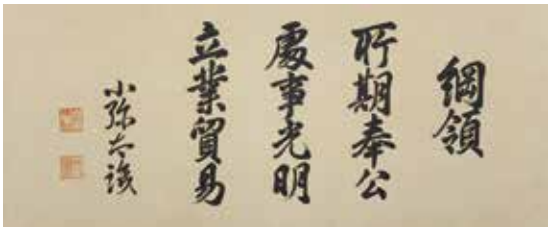
COMPANY

企業概要

会社名	三菱商事マシナリ株式会社
設　立	1982年9月16日
資本金	3億円（三菱商事100%出資）
代表者	代表取締役社長 五十嵐 秀尚
従業員	359名
事業内容	電力・化学・製鉄をはじめとするプラントEPCビジネス及び関連機器の輸出、 鉄道車両などの交通システム関連機器の輸出、ヘリコプター・防衛装備品の輸入
本社住所	〒100-0005 東京都千代田区丸の内二丁目5番1号　丸の内二丁目ビル4階
連絡先	TEL：03-6865-7800（代表）　FAX：03-6865-7801
名古屋支店住所	〒450-8680 愛知県名古屋市中村区名駅3-28-12 大名古屋ビルヂング17階

PHILOSOPHY

私たちの企業理念



三綱領

三菱商事グループの一員である
我が社は「三綱領」を企業理念として、
公正で健全な事業活動を
推進していきます。

所期奉公

事業を通じ、物心共に豊かな社会の実現に努力すると同時に、かけがえのない地球環境の維持にも貢献する。

処事光明

公明正大で品格のある行動を旨とし、活動の公開性、透明性を堅持する。

立業貿易

全世界的、宇宙的視野に立脚した事業展開を図る。

（「三綱領」及び2001年1月三菱金曜会にて申し合わされた現代解釈）

組織図

社　長
監査室
コンプライアンス室
経営企画部
未来創造室
法務部
人事総務部
人材開発室
経理部
デジタル戦略企画部
インフラプロジェクト本部
戦略企画室
インフラ創造室
フィリピン室
インドプロジェクト室
第一部
第二部
第三部
第四部
BX本部
風力デジタルソリューション事業部
交通O&Mソリューション事業部
電力アフターサービス事業第一部
電力アフターサービス事業第二部
プラント機器事業部
DX事業部
BX戦略企画部
宇宙航空機本部
統括管理部
艦船システム部
航空システム部
電子システム部
名古屋支店

三菱商事マシナリ株式会社

〒100-0005 東京都千代田区丸の内二丁目5番1号　丸の内二丁目ビル4階

TEL：03-6865-7800（代表）　FAX：03-6865-7801

www.mcmachinery.co.jp/